

高知市春野町仁ノ海岸における取り組み

背景

高知市春野町仁ノ海岸は、通称「桂浜花街道」を西へ進み、文庫鼻トンネルを通過した箇所から約1.6kmの海岸です。仁淀川河口まで繋がる海岸線であり、サーフィンや釣りに訪れる方が多く見られます。

5月～8月にかけては、アカウミガメが上陸産卵が多く見られます。戸原海岸と同様に数多くの産卵があります。またコアジサシ(チドリ目カモメ科)の集団繁殖地(コロニー)を同時期に確認しました。

平成24年度より、仁ノ海岸を皮切りに大規模地震、津波対策工事が始まりました。また、仁ノ離岸堤の完成により前浜が回復し、高波波浪の越波が軽減されています。



高知市春野町仁ノ



アカウミガメ上陸



工事完成後

ボランティア清掃の取り組み

高知海岸パートナーシップの清掃活動により、ごみの不法投棄が減少し、海岸美化に多大な貢献をいただきました。またアカウミガメの産卵環境がよくなり上陸産卵が増加しました。このような効果を広報させていただいたところ、「和がらし会」の皆様から応募をいただき、仁ノ海岸で初めての参加をいただくこととなりました。

和がらし会

清掃活動を通して、高知県に活力を生み出し、またお名前のおり「和」を大切に活動していきたいと目標を持って平成21年から参加いただいております。和がらし会さんは仁ノ海岸の600メートルを担当し、高知海岸の美化活動に貢献されています。



和がらし会による清掃の様子

